



神奈川県立七里ガ浜高等学校 所在地:神奈川県鎌倉市七里ガ浜東2-3-1

## PTA・教職員と一体で 生徒用トイレ改修



神奈川県随一の観光地である鎌倉から、江ノ電に乗り換え、「七里ヶ浜」で下車すると、すぐに七里ガ浜高等学校が見えてくる。訪れたちょうどその時は、夏休み中で学校見学者と思われる中学生とその保護者が連れ立って海をバックに高校へ向かっている最中だった。

湘南の海風に心地よく対峙して建つ神奈川県立七里ガ浜高等学校は、現在、生徒数873名(平成24年4月)、国際理解教育活動に積極的に取り組み、米国メリーランド州の高校とも姉妹提携を結んでいる。

学校設立から今年で37周年となり、40周年に向けて何か記念になる行事を検討していたところ、当校では、トイレの5K(臭い、汚い、暗い、怖い、壊れている)に長年苦慮しており、さらに、これから海外からのお客様の来校が増えることを考慮すると、利用頻度の高いトイレから何とか出来ないかと検討を開始した。

PTAにて、昨冬、横浜市にある高木学園女子高等学校のトイレ見学をしたところ、見学者が大変感激、今回のトイレ改修の意を強くし、保護者会で積み立てている周年行事費で、トイレをきれいにし、生徒に還元していこうという決断に至ったのだ。「大人たちが関わることによつて、子どもたちを良い方向に導こう」をモットーに、大人の気持ちを子どもたちにも感じてもらう意気込みだ。こうして、七里ガ浜高校の「トイレクリーンアップ計画」がスタートした。全体計画は、吉田幸一校長をはじめ、前PTA会長の小林さん主導で開始されたが、具体的な進め方は、株式会社豊建築事務所の向井藤子氏が入り、どのように進めるか、プロの観点から予算内で「今できること」をアドバイスしていった。



改修前のトイレ全体



改修後のトイレ全体



ベニヤ合板にニス塗りをするPTA

# 県立高校にパウダールーム登場

「トイレクリンアップ計画」では、吉田幸一校長を中心に、保護者会とPTAで、まずはトイレ改修の目的を確認する。

①トイレをきれいにするのは手段であること。②子どもたちは、身だしなみを整えるきっかけを望んでいること。③大人の思いを子どもたちに伝えること(ちゃんとしている)。④トイレをきれいにすれば、きれいに使ってくれること。

以上①～④の目的を共有し、コストの面を検討する。

予算が限られているので、便器の取替えはあきらめ、今回実現したいことを整理。

明るい雰囲気を出すため、空間の色調を工夫し、ぬくもりのある木材を用いて、温かみのある空間にした。また、高校生

らしく身だしなみに配慮して欲しい気持ちから鏡を調達して設置している。

さらに、教室移動などの際の手荷物の利便性に気遣い、ベンチも購入して設置するようにした。ベンチは、改修後、大変評判が良いとのこと。

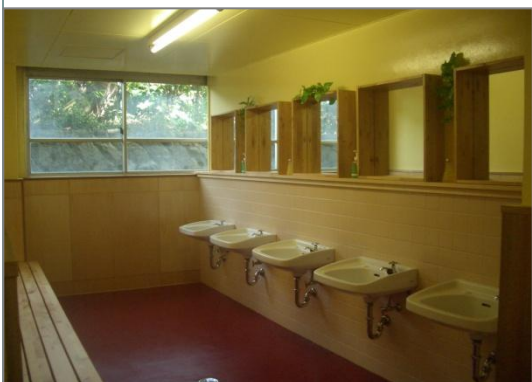
トイレ改修の締めくくりとして、学校のトイレ研究会企画企業の榎木村徳太郎商店でプロの特殊清掃を実施。配管内の汚れや便器・タイルの尿石の除去を徹底的に行い、床のコーティング仕上げを行って完成した。8月末に、「パウダールーム」として生徒が独自に作ったサインで完成後のトイレを生徒にお披露目。外国人が使えるように、サインも英語で表記している。

このような活動から子どもたちが学びとすることは非常に大きいと思われるが、本来は公費で実施するトイレ改修。改めてトイレ改修の緊急性、重要性も浮き彫りにしている。

(学校のトイレ研究会 記)

学校のトイレ研究会HP

<http://www.school-toilet.jp/>



改修後、ベンチと鏡が設置された女子洗面コーナー



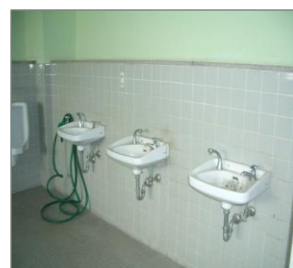
改修前の女子洗面コーナー



改修後、プロの清掃後の男子トイレ



プロの特殊清掃 臭いの原因を除去



改修前の男子トイレ



8月29日パウダールームお披露目会にて、テープを切る吉田校長と前PTA会長の小林さん



生徒がデザインしたパウダールームの案内板



創立40周年実行委員会から寄贈された全身鏡